

中文(简体)

旧堀部家住宅

由代代侍奉犬山城主の士族——堀部家建造而成。

根据房屋铭牌，主屋于明治16年（1883年）建造，建造者为当时的家主胜四郎（1832年～1907年）。

除主屋之外，还有别屋、游廊、土墙仓房、作业场（并设养蚕室）和高墙，每一处都已于平成18年（2006年）注册为国家的登录有形文化遗产。该建筑物十分珍贵，人们不仅在房屋结构的每一处都能追念到武士的喜好，还可以在这里了解到对我国近代化建设作出贡献的养蚕事业的发展过程。

犬山市教育委员会

旧堀部家住宅

犬山城主に代々仕えた士族堀部家が建築した。

主屋は棟札により明治16年（1883）築で、施主は当主勝四郎（1832～1907）。

他に離れ座敷、渡り廊、土蔵、作業場（蚕室併置）、高塀からなり、いずれも平成18年（2006）に国登録有形文化財となった。

造りの随所に武士好みを偲ばせ、我が国の近代化に貢献した養蚕に携わった経過もわかる貴重な建物である。

犬山市教育委員会